

出向先紹介コーナー

(財)電気安全環境研究所 (JET)

平成9年10月に「(財)日本電気用品試験所」から現在の名称になったが、今でも昔からの略称「JET(ジェット)」と呼んでいる。JETの主な業務内容は電気製品の「認証サービス」であるが、「ISO9000品質システム審査登録」「ISO14000環境審査業務」も開始している。私は名古屋市工業研究所内に間借りした名古屋研究センターで高調波に関する調査・研究を行っている。

名古屋研究センターには、私以外に、JET職員2名とメーカーからの出向者1名が在籍している。また、東京本部にも数名が高調波に携わっている。高調波の研究グループは、大きく2つに分けられ、家電製品の高調波電流発生量と耐量を調査・研究するグループと高調波電流発生を抑制する技術を研究するグループがあり、私は後者に属している。年2回開催される高

調波問題対策委員会と年4回開催される分科会に研究成果を報告し、年度ごとに報告書をまとめている。

私の研究内容はアクティブフィルタ、多パルス化に関して実機やシミュレーションにより、それらを使用するときの問題点や注意点などを検証している。

この高調波事業は名古屋市科学館の直列リアクトル爆発事故を契機に高調波を専門に研究する部署として発足し、通商産業省からの補助事業が平成7年度から6年計画で行われている。今年度はその最終年度になり、そのまとめとして「高調波技術マニュアル(仮称)」を現在作成中である。



測定風景



後列左から武田智子、高橋信一郎、大原和雄、倉本克治
前列左から白石博隆、山口哲夫、若林 始

住所・電話
名古屋市熱田区六番3 4 41
(052)654 5450



執筆者 / 倉本克治
E-mail : LES05542@nifty.ne.jp

編集部便り

平成12年度上期技術開発本部見学者集計表

平成12年度4月～9月までの間に当技術開発本部に下記の方にご来所頂きました。

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	主な見学者
	人	人	人	人	人	人		
他 企 業					2	65	67	(財)省エネルギーセンター主催講座ほか
研 究 団 体		20		34			54	電気学会交流超電導機器技術調査専門委員会
学 校・教 育		1	20	35	60		116	(岡崎支店管内)岡崎市内小中学校社会科部 大阪府立工業高等学校電気科研究会
各 種 団 体			10	141	24		175	(小牧電力センター管内)春日井市消費者の会、環境セミナー (中津川営業所)中電懇話会 愛知工研協会、(旭名東営業所管内)守山生涯学習センター高齢者教室
海 外						12	12	中国国家電力科学技術考察団
合 計		21	30	210	86	77	424	
累 計		21	51	261	347	424		

